

リハビリテーション看護	3 年・後期	1 単位 15 時間	教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121083

1. 授業のねらい・概要

リハビリテーション看護分野の概念をふまえ、看護の役割や機能を学ぶ。具体的には、リハビリテーション看護を必要とする対象を包括的に理解し、発達段階や健康レベル、障害の種類からみた対象の特性と看護介入の特徴を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. リハビリテーション看護の定義や流れが理解できる。(D-2)
2. リハビリテーションチームの対象や特徴、役割、機能が理解できる。(D-2)
3. 疾病発症後の時期や機能障害に対応したリハビリテーション看護が理解できる。(D-2)
4. 障害をもつ人の看護過程の特徴が理解できる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義を中心に進める。学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	リハビリテーション看護の概念	講義	予習：リハビリテーション看護についてイメージしておく 復習：リハビリテーションの定義や理念、障害者の定義等について振り返る	石久保
2	リハビリテーションチームの特徴、役割、機能	講義	予習：リハビリテーションに関連する他職種について学習しておく 復習：リハビリテーション看護や、他職種連携のあり方について振り返る	石久保
3	機能障害別リハビリテーション看護 (1) 運動器系の障害	講義	予習： 復習：疾病の詳細、運動器障害でのリハビリテーション看護の介入を理解する	石久保
4	機能障害別リハビリテーション看護 (2) 中枢神経系の障害	講義	予習：解剖学的な中枢神経系の障害について学習しておく 復習：中枢疾患系のリハビリテーションプログラムや看護介入方法を理解する	石久保
5	機能障害別リハビリテーション看護 (3) 呼吸器・循環器・感覚器系の障害	講義	予習：解剖学的な呼吸器・循環器・感覚器系の障害について学習しておく 復習：呼吸器・循環器・感覚器系のリハビリテーションプログラムやリハビリテーション看護の介入について理解する	石久保
6	障害を持つ人の機能評価と生活援助技術	演習	予習：障害者における日常生活の影響を学習しておく 復習：障害者の機能評価の方法や尺度について理解し、日常生活での看護介入方法を理解する	石久保
7	疾病発症時期と看護過程	講義	予習：急性期から終末期までの経過を学習しておく 復習：疾病発症時期に見合った看護過程や介入方法について理解する	石久保
8	知識試験	演習	予習：授業で学習したリハビリテーション看護の総合的な学習をしておく 復習：授業を全体的に振り返る	石久保

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席をした者）100%とする。

6. テキスト・参考文献

テキスト：系統別看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院

参考文献：適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要であり、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

定期試験の解答は試験直後口頭でフィードバックするか、後日掲示し提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

この科目は選択科目である。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。